

多職種連携による口腔機能管理に関する専門部会の取り組みについて

1. 「多職種連携による口腔機能管理に関する専門部会」の設置目的と検討事項

口腔の健康が全身の健康に大きく影響することや、フレイルの前段階にオーラルフレイルがあることが認知されるなど、口腔への関心が高まっている。しかし、医療・介護の現場では、口腔機能管理が必要とされる方が多いと言われているが、医療・介護従事者が資源を活かしきれていない。

そこで、口腔機能管理の重要性について多職種が共通理解を深め、スムーズに連携することにより、必要な方に口腔機能管理を実施して、健康寿命の延伸をめざす。

そのため、当専門部会において、以下の項目について検討することとした。

【検討項目】

- ① 地域包括ケアにおける口腔機能管理の現状と課題
- ② 口腔機能改善や口腔ケアを必要とする患者像の共有
- ③ 連携のための口腔アセスメントツールの検討

2. これまでの経緯

検討項目の①及び②を把握するために令和2年度及び3年度に、以下のアンケート調査を実施した。

- (1) 「訪問歯科診療」「訪問口腔ケアに関する実態調査」(神戸市歯科医師会所属歯科医師対象)
- (2) 「ケアプラン作成時における口腔・栄養の関連サービスに関するアンケート調査」
(施設・居宅ケアマネジャー対象)
- (3) 「退院連携シートに関するアンケート調査」(市内の99病院対象)

アンケート調査より、

- ◆ 家族やケアマネから「訪問歯科診療」「訪問口腔ケア」の依頼が少ない
- ◆ 利用者の必要度の把握(適切なアセスメントツール)が必要
- ◆ 既存の退院連携シート及び看護サマリーには口腔に関する項目が少ない

といった課題が明らかになり、その結果から連携のための「口腔アセスメントツール」を作成し、多職種がスムーズに連携できる環境づくりに努めることとなった。

3. 令和4年度の予定

令和4年度中に部会を開催(令和4年10月26日(水))し、連携のための「口腔アセスメントツール」について意見交換を行いたいと考えている。

4. 口腔アセスメントツール(案)

- (1) 訪問歯科診療及び訪問口腔ケア必要度チェック票(①表面:項目・②裏面:写真)
- (2) 多職種による地域連携【高齢者の口腔ケア】必要性解説チャート

上記2種類を作成し、関係部署に配布し、活用していただく。

5. 口腔アセスメントツールの使い方(案)

(1) 訪問歯科診療及び訪問口腔ケア必要度チェック票(案)

チェック票①表面は、患者もしくは家族に聞き取りを行い、該当する項目がないかを確認します。一つでも該当する項目がある場合は、訪問歯科診療・訪問口腔ケアが必要と判断されます。

チェック票②裏面は、患者もしくは家族への聞き取り又は、医療・介護従事者が実際に口腔内を観察して写真の状況に近い状況(状態)を確認します。健全以外の項目に一つでも該当する項目がある場合は、訪問歯科診療・訪問口腔ケアが必要と判断されます。

※チェック票①表面②裏面を活用して、患者および患者家族に口腔内の実態を知っていただき、訪問歯科診療や訪問口腔ケアが必要な状況にあることを理解していただきます。

※訪問歯科診療や訪問口腔ケアが必要な場合は、まずかかりつけ歯科医に相談し、本チェック票で情報提供していただきます。かかりつけ歯科医がない場合は、神戸市歯科医師会歯科保健推進室に相談していただきます。

(2) 多職種による地域連携【高齢者の口腔ケア】の必要性解説チャート(案)

歯と口のケアは、全身の健康を守るために大切であることを患者や家族に理解していただく必要があります。

特に食の支援は重要です。低栄養状態が重度な方ほど口腔内環境が不良な方が多いことが分かっていることから、治療・口腔ケアにより口腔内環境を改善することで食べられる状態にすることが大切です。食べることができれば低栄養の予防になり、QOL(生活の質)の向上にもつながります。

このチャートは、医療・介護従事者の皆様に訪問歯科診療及び訪問口腔ケアの効果(メリット)についてご理解いただき、患者や家族にその必要性、重要性を説明される時の参考としていただく資料となります。